



第6回奥出雲病院祭

病院の業務や医療に関する理解と関心を深めてもらう奥出雲病院祭が、十月十六日、町立奥出雲病院で開催されました。

当日は、病院各部署から医療や健康をテーマにしたパネル展示、例年好評を得ている「まちの保健室」による健康チェックなどが行なわれました。

また、(株)さんびるの田中正彦社長による講演会や、仁多中プラスバンド部、深田英治一座の公演など様々な催しが行なわれ、会場は多くの人で賑わいました。



新そば祭り2010

十月三十日から十一月十日にかけて、新そば祭りが行われました。

横田地域の国道三一四号沿いなど、各所に設けられたテント出店開場や各店舗には、県内外から多くの人が訪れました。

昼食時には、行列ができる程の盛況で、奥出雲の新そばを食べた人は「そばの香りがして、とてもおいしい」と話していました。



平成三十二年度
良質米品評会

仁多米の品質向上と名声の高揚を目的とする「奥出雲町良質米品評会」（奥出雲町産米改良協議会主催）の授賞式が、十月三十一日に行われうるち米、もち米、酒米の部のそれぞれ受賞者が表彰を受けました。

企業参加の森づくり

島根県が創設した「しまね企業参加の森づくり」に参画する山陰酸素工業（本社・米子市）が、十月二十三日、上阿井にある「たたら角炉伝承館」付近の山林で、同社社員や森林組合の職員など約七十人が参加し、昨年に続き第二回目の保全活動を行いました。

今年は、昨年植栽を行った場所に続く約〇・四ヘクタールの山林に、クリやナラ、サクラなどに、四種類の苗木約千本を植栽し

ました。

参加者は、このような森林保全活動に企業が参加することの大切さを感じながらも楽しんで植栽作業を行っていました。

計画では、来年も引き続き植栽を行い、その後は下刈りなどの維持管理活動を行っていく予定です。

奥出雲町を代表するイベントで、今回二十七回目となる「2010奥出雲サイクリング」が十月二十四日、町商工会青年部が主催し、三成公園野球場を発着点に開催されました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、子どもから大人まで、県内外から、前回の参加者を大幅に上回る約三百人が参加しました。

参加者は、完成間近の尾原ダム周辺を駆け抜ける四十八キロのロングコースと、ゆっくりと初秋の奥出雲を感じる二十六キロのショートコースに分かれ、町内の観光名所や風景を楽しみながら、思い思いにペダルをこぎました。

ゴール後には、商工会女性部の協力により、和牛焼肉と豚汁、出雲そば、仁多米おむ



主催した町商工会青年部の田中伸和部長は「この奥出雲サイクリングを通して、神話の里奥出雲町を肌で感じてほしい」と話され、このイベントの成功と町の活性化を期待していました。



すび、奥出雲バーガーやライ
スバーガーなど多彩な昼食が
用意され、参加者は奥出雲の
食を堪能していました。

